

稲作・畑作

営

農

情

報

水稻



〈水稻の作況〉 (9月15日時点)

東北農政局秋田県拠点統計チームが公表した、コメの作柄概況によると、秋田県内の作況指数は前年同期比1ポイント増の103「やや良」でした。9月15日現在における水稻の作柄は、出穂期以降、おおむね気温・日照時間が平年を上回って経過し、登熟が「やや良」と見込まれることから10a当たり予想収量は589kg(県北は571kg)となり前年産に比べて4kg(県北は5kg)の増加が見込まれている。

来年の稲づくりは今秋から

□あきた白神米の品質・食味向上は土づくりから□

今年度のような記録的な猛暑など近年の異常気象条件下では、①土壌のケイ酸分の減少②腐食含有量の欠乏③PHの低下など、地力の低下により生育後半に稲体が活力を落とし、米の品質・食味低下に繋がっています。土づくり資材を施用し、土壌中の腐植を高めることは化学肥料の低減にもつながることからコスト削減の有効的な対策といえます。土壌に不足している養分の補給を目的としたケイ酸資材の施用、有機物の投入、作土深の確保などは決して省略せず、確実な土づくりを行いきましょう。

水稻は好ケイ酸植物といわれています。ケイ酸は、根の酸化力を増進し、病害虫や土壌還元に伴う各種阻害要因に対して抵抗性を高める効果があります。したがって、毎年継続して、ケイ酸資材を施用することが望ましく、特に砂質土水田や秋落ち水田等でその効果が高くなります。

★秋わらすき込み効果とポイント★

- 土を柔らかくして、土の養分を抱える力が向上する。
- 地力の維持増進、土壌の改善・品質向上に役立つ。
- 稲わらの分解を促進するために、収穫が終わったら速やかに行いましょう。

バラ散布風景



土づくり実施、未実施者別の食味値平均では、やはり土づくりを行っている方のほうが食味値は高くなります。土づくり資材(ケイカル肥料)の散布量と食味値の平均では、散布量が多いほど食味が高くなる傾向にあります。

◆土壌改良資材の委託散布について◆

土づくり資材(バラ散布肥料100kg/10a)の散布委託申込書の提出期日は、10月31日(月)までとなっています。散布を希望される方は、平成29年用営農資材予約注文書の申込用紙に記入の上、期日までの提出をお願いします。

土壌改良材散布申込書

気象変動に負けない米作り、高品質・食味の米作りに

稲に必要なケイ酸(Si)、リン酸(P)散布!!

毎年続発する異常気象、稲の登熟期にあたる夏場の異常高温に対する備えが必要になります。稲が登熟期に高温に晒されても負けない備えの一つが、稲が生育の中で最も多く必要とする「ケイ酸」(ケイカル肥料)を与える事で、高温下での品質低下を防ぐ効果があります。

バラ散布委託申込書

(提出年月日) 平成29年 月 日

姓 名	郵便番号	住 居 地	自宅電話番号

◎提出期日は、10月31日(月)まで提出をお願いします。

バラ散布肥料

混合硬質3号(砂) 100kg散布

保 証 成 分	リン 酸	ケ イ 酸	アルカリ	苦 土
構成 比	3%	28%	42%	4%

散布料金込み料金

秋 散 布	4,212円/10アール(常年参考価格)
春 散 布	4,536円/10アール(常年参考価格)

秋 散 布	春 散 布	備 考
a	a	

※申込された方には、散布明細を確認のため、経済渉外担当がお伺いします。

